

「日本女性会議 2027 丸亀」第 2 回実行委員会報告

開催日時：令和 8 年 4 月 20 日（月）午後 6 時 30 分～7 時 45 分

場 所：丸亀市役所 4 階特別会議室

出 席 者：実行委員 15 名

欠 席 者：実行委員 5 名

議 題：（１）部会配属の決定及び部会長の選出について
（２）大会コンセプトについて
（３）プレ大会のテーマについて
（４）シンボルマーク及びロゴタイプの募集について
（５）公募型プロポーザルの実施について
（６）今後のスケジュールについて
（７）令和 7 年度収支決算（案）及び令和 8 年度収支予算（案）、事業計画（案）について

議事の概要及び議決の結果は次のとおり

- （１）部会配属の決定及び部会長の選出について（資料 1）
事務局より部会配属（案）を提案。
全員異義なく、承認された。

部会長の選出

実行委員会規約第 11 条第 4 項の規定により、実行委員長が

総務部会長：藤井 公雄委員

企画部会長：徳倉 康之委員

広報部会長：和田 千寛委員を指名し、承認された。

- （２）大会コンセプトについて（資料 2）
事務局より大会コンセプト（案）を提案。
1、誰もが自分らしく活躍し、挑戦できる社会の実現
2、一人ひとりのウェルビーイングの実現
3、活力あるまちづくりに向けた協働と情報発信
全員異義なく、承認された。

(3) プレ大会のテーマについて(資料 3-1、3-2)

事務局よりプレ大会の概要、テーマを説明。プレ大会と本大会のテーマは、「まるっ都! まるがめ ~誰もが自分らしく挑戦できるまちへ~」で統一することを提案。全員異義なく、承認された。

(4) シンボルマーク及びロゴタイプの募集について(資料 4)

事務局より「1. 全国に公募で募集」、「2. 県内の学生に作成を依頼」、「3. デザイン作成企業に依頼」、「4. 丸亀市総合計画「コミュニケーションフレーム」(亀フレーム)を使用」の4案を提案。

協議の結果、丸亀市総合計画に活用している「コミュニケーションフレーム」(亀フレーム)を活用する案が承認された。

(委員)

案4が「丸亀市のマークはこれなんだ」ということを違う形で、全国に継続的にアピールをしていく機会と捉えることができ、今回のテーマはまさにこの「まるっ都! まるがめ」のフレームとリンクしていると思う。効果的にPRする機会と捉えて、市民や県民の皆さんはもとより、全国の皆さんに発信する方が、時間的な制約からも、今までコストをかけてきた丸亀市のコミュニケーションフレームに対しても、いいのではないかと思います。できたばかりのフレームを活用し、丸亀市を積極的にPRしたらいいのでは。

(委員)

フレームはいいと思うが、フレームの中にまた何かしら決めるものがいるのではないかな。また、学生に依頼もいいと思う。この特定の1校を選定する場合とは、学生にお願いする場合、1校だけにお願いするということか。

(事務局)

1校に選定してご依頼する。

(委員)

1校だけではなく、丸亀市内のすべての学校に依頼ということも可能ではないか。

(事務局)

ロゴは、8月末までに決定したいと考えている。学生に依頼をかけた場合、授業で取り組んでもらう、または、学生自身に時間をつくって取り組んでもらうかと思うので、学校・学生ともに負担になるかと思う。市内の学校すべてに声をかけるということであれば、公募が望ましい。公募をする際にも、学校にお願いする予定である。

(委員)

やっぱりいろんな方に丸亀で、「日本女性会議」が行われるということをお伝えするためには、公募にした方が知ってもらえると思う。短大生とコラボしたことがあるが、現在1学期とか前期が始まっているため、授業のカリキュラムに入れるとしたら、難しい可能性が高いと思う。

もし学生さんたちが参加される場合は、公募であれば個人でも参加できるかと思うし、女性らしいデザインを公募してはどうか。

(委員)

私も4の案でいいかなと思うが、前回とか前々回の大会のシンボルマーク・ロゴタイプを見ると、女性らしい雰囲気があって、フレームでは女性らしい雰囲気がない。女性会議ではその亀を女性らしくするとか何か工夫がないと女性会議としては適切なのか疑問に思う。デザイン専門学校の学生達とコラボし、会社のロゴなどを考えてもらった際は、なかなかレベルが高くてよかった。県内、丸亀市の学生に頼むにはスケジュールが難しいと思うが。

(事務局)

倉吉市では、2ヶ月ほどの公募で決定したと伺っている。県内のデザインの専門校は少ないため、学生だけでは応募数がなかなか見込めない。また、フレームの色は自在に変えることが可能。フレームの中身もいろいろ変更できるが、フレーム自体に何か加えるのは難しいと規定にある。

(委員)

女性らしくしなければいけないかという点で、大会の趣旨として、多様性を尊重しているので、過去のシンボルマークに準じる必要はないと思う。「女性らしさ」とは何だろうかといつも思っていて、また、「女性らしく」という表現も、最近は難しいため、そのままのフレームの活用でもいいと思う。

(委員)

公募の場合、例えば賞金とかあると思うが、ある程度のインセンティブがあると、プロの方も全国から応募されるとは思うが。

(事務局)

公募の場合、採用者には5万円の報酬を予定している。

(委員)

デザイン制作の業界からは、賞金5万円のロゴの公募とか非常に批判的な目で見られており、やりがいや削ぐという面が見られるという批判は実は世の中でかなりされている。そういうことも踏まえて、フレームを推薦した。フレームの中に日本女性会議と書くだけでも割とシンプルでいいと思う。公募の場合、権利すべて市に帰属するのではないかと。帰属を採用者との共同使用だったらいいが、著作権は市が持つため、採用者が今後シンボルマークを使用できないデメリットがある。

(実行委員長)

いまのところ、案1か案4の意見が多数だが、意見をまとめると、事務局案にはあてはまらない。さまざまなパターンが挙げられてはいるが、フレームを使うかどうかをこの場で決定したい。

挙手にて決定(多数決)

(事務局)

14 名の方の賛同により、一旦案 4 のフレームを活用するということで進めていきたい。フォントのことも含め、フレームについて日本女性会議で使用可能か担当課に確認する。詳細が分かり次第、実行委員会に共有させていただく。

(5) 公募型プロポーザルの実施について(資料 5)

事務局より「大会ホームページ制作等業務」、「大会参加受付・宿泊手配等業務」、「大会運営等業務」の 3 つを令和 8 年度および令和 9 年度の 2 年度分一括で業務委託することを説明。事業者の選定はプロポーザル方式で決定する。スケジュールとしては、3 つの委託業務を概ね同じ時期に選定し、7 月までには契約を締結する予定。

委託における内容確認等については、「大会ホームページ制作等業務」は広報部会、「大会参加受付・宿泊手配等業務」および「大会運営等業務」は総務部会にて協議する予定。

全員異義なく、承認された。

(実行委員長)

今後、物価が大きく上昇することが予想される。そうなった場合の対応は問題ないのか。

(事務局)

橿原市に、発注の上限額というのを設けていたと伺っているが、各受注業者では、その上限額に近い額ではなく、ある程度の余裕もあったので、そのあたりで上限額と実際の受注額との比較で、現在の設定で問題ないと考えている。

(委員)

プロポーザルのスケジュールを確認したい。

(事務局)

「大会ホームページ制作等業務」は広報部会、「大会運営等業務」、「大会参加受付・宿泊手配等業務」は総務部会を中心に進めさせていただくので、それぞれの部会でスケジュールを共有させていただく。部会でスケジュールが確定したら、実行委員会で情報を共有させていただく。

(6) 今後のスケジュールについて(資料 6)

事務局より令和 8 年度および令和 9 年度の大会スケジュール(案)を提示し、説明した。

(7) 令和 7 年度収支決算及び令和 8 年度収支予算(案)、事業計画(案)について
(資料 7-1、7-2、7-3)

事務局より令和 7 年度収支決算(案)及び令和 8 年度収支予算(案)、事業計画(案)を説明。

令和8年度収支予算(案)

- ・総額 9,000,000 円の事業費を提案
- ・収入について、市補助金 7,000,000 円、協賛金 2,000,000 円
- ・支出について、プレ大会の費用(報償費、需用費、委託料)などを計上
- ・大会ホームページ制作等業務、大会参加受付・宿泊手配等業務、大会運営等業務を委託料で計上

委員から令和 8 年度の予算の委託料について質問があり、プロポーザルの予算配分について事務局から説明した。

全員異義なく、承認された。

(その他)

委員から「内閣府男女共同参画局から第 6 次男女共同参画基本計画が 6 月には出てくると思う。国の発信を通して企画をイメージしていくと、今年来年のイベントの肉付けができるのでは」と助言があった。

次回、第 3 回実行委員会の開催日時を決定した。

- ・令和 8 年 6 月 30 日(火) 18:30~を予定。